

新居関所史料館企画展



吉田藩管理時代を
中心として

●期間

平成14年10月29日(火)
から11月24日(日)

●会場／新居関所史料館

●主催／新居町教育委員会・新居関所史料館

関所役人の
勤番内容

開催にあたって

江戸時代の関所は江戸防衛を目的として設置され、「入り鉄砲に出女」を厳しく取り締まりました。幕府が設置した関所は江戸中期まで全国に 53 あったといわれています。このなかで、新居関所は箱根とともに最重要とされました。

関所の存在は、当時の旅人に畏怖の念を抱かせたことでしょう。それは庶民だけではなく武士にも「いかめしいもの」と思い込まれていたようです。関所周辺の人々にとっても厄介な存在であった関所。その関所へ勤務していた役人達はどんな仕事をしていたのでしょうか。

今回の企画展は、吉田藩管理時代にスポットをあて、徳川幕府安定の一因となった関所の役割を再認識してみました。

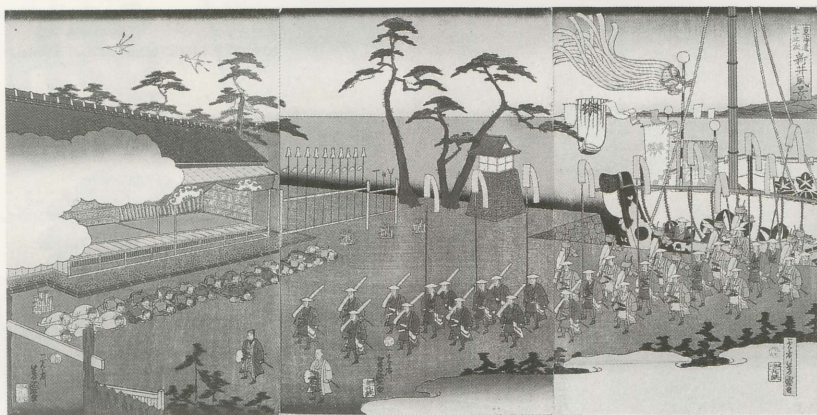
最後に企画展開催にあたり、ご出品、ご協力いただきました皆様に深く感謝いたします。

◆描かれた関所

一般庶民の生活や風景を題材とし多くの人々に受け入れられた浮世絵版画。大半が江戸後期の化政文化期に制作されたといっても過言ではありません。

なかでも歌川広重や葛飾北斎が描いた東海道五十三次シリーズは数十種類あります。

新居宿は、今切渡船、今切(新居)関所が題材として多く描かれています。



東海道五十三次 新井風景 歌川芳盛 画

◆記された勤番内容

元禄 15 年 (1702)、今切 (新居) 関所の管理が吉田藩へ移管されると吉田藩では今切関所に勤務する関所付役人と町方行政を担当する町方役人を新居付役人として新居へ派遣しました。新居付役人のうち過半数以上が関所付役人でした。関所付役人は北屋敷と呼ばれる役宅に在住し、そこから通っていました。

○役人構成と勤番内容

関所役人は者頭、給人、下改、足軽、改女等約 40 名前後が交代制で勤務していました。

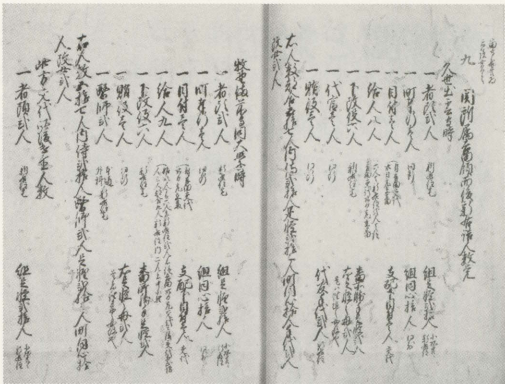
者頭は関所の最高責任者として諸事を差配し、それぞれに足軽が直属しました。

給人は手形・判鑑等の重要書類の管理と門・木戸の開閉を指示、また者頭の帰宅後には者頭に代わり関所を運営しました。

下改めは通行人の検閲に専念しました。

足軽は上役の指示により通行人を差配しました。

改女は女性通行人の身体検査を担当しました。



今切御関所留

吉田藩主 役職名	久 世 氏	牧 野 氏	松 平 (伊豆守) 氏			
			享保末年	安永 9 年	文化末年	安政 3 年
者 頭	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人
組足軽	2 0 人	2 0 人	2 0 人	2 0 人	1 8 人	2 0 人
給 人	8 人	9 人	9 人	9 人	9 人	9 人
下 改	6 人	6 人	6 人	6 人	7 人	8 人
関所足軽 (関所番)	2 人	2 人	2 人	2 人	?	2 人
改 女	2 人	2 人	2 人	2 人	?	2 人
水主頭	1 人	1 人	1 人	水主 6 人	?	1 人
その他	賄役 1 人	賄役 1 人	賄役 1 人	隠居 賄役 1 人		火の番 1
計	4 2 人	4 3 人	4 3 人	4 8 人	?	4 5 人

吉田藩管理下の関所役人の構成

○関所常備武具

関所常備武具は、役人の所定の取り調べに従わない通行人の不法行為を未然に防止する対策として備えられていましたが、幕藩制社会の確立に伴い、関所の権威を通行者に誇示するという役割、いわゆる飾り用として関所に常備されていました。

品 名	関 所 飾 り					
	弓 (張)	鉄砲 (挺)	矢箱 (荷)	玉菓箱 (荷)	長柄 (本)	幕 (対)
数	25	25	2	2	10	1 半

吉田藩主松平信祝時代の常備武具

◆検閲と対応

関所での検閲は、江戸へ入る武器(鉄砲)と大名の人質(妻子)が国元へ逃げ帰るのを監視した、いわゆる「入鉄砲に出女」に集約され、大名統制を補完する機能を持っていた。

一 関所を出入る輩、乗物の戸をひらかせて、笠・頭巾をとらせて通すへき事
 一 往来の女、つふさに証文に引合せて通すへき事、
 附、乗物にて出る女ハ、番所の女を差出して相改へき事、
 一手負・死人并不審成者、証文なくして通すへからさる事、
 一堂上の人々・諸大名の往来、兼而^も其間あるハ沙汰に
 不及、若不審之事あるにおゐてハ、誰人によらず改むへき事、
 一 相定証文なき鉄砲ハ、通すへからさる事、
 右条々厳密可相守もの也、

正徳元年五月

奉行

寛

○高札

通行人等を改めるという関所の第一の目的を完遂させるための基本方針として高札が掲示されました。

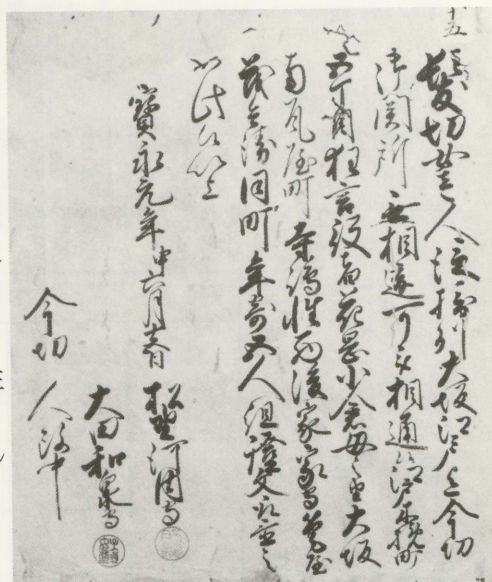
今切(新居)関所に最初に掲げられた高札は寛永2年(1625)、三カ条からなる「定」でした。

その後、慶安5年(1652)・寛文6年(1666)・寛文7年・延宝3年(1675)・元禄7年(1694)と書替が行われ、正徳元年(1711)左記のように最後の書替が行われました。

○関所通行手形

関所を通行する時に必要な許可書が関所手形です。関所手形の種類には女・鉄砲・乱心・囚人・首・死骸・手負のほか、特殊なものに書替手形・鉄砲置手形、今切湊の入津・出船手形などがありました。このうち、乱心・囚人・首・死骸・手負については男性・女性ともに手形が必要でした。関所通行手形は大小名の女性だけではなく、すべての女性に必要でした。

幕府の統制が大小名だけではなく庶民にまで及んでいたことがわかります。



女通行手形 宝永元年

手形のなかで特に重要なものが女手形と鉄砲手形でした。女手形には通行人数、身分や乗物の有無、出発地と目的地を明記することを必要とし、鉄砲手形もその種類と挺数、所有者名、鉄砲輸送の起点と目的地を記載することが必要でした。

手形の記載事項は通常、関所事務を統括する幕府の留守居から示された看板を番所に掛けていました。

関所手形可書載覚																												
一	乗物	何挺	是ハよき人の後室、または姉妹などの髪剃たるを言	一	比尼	是ハ普通之女、髪剃たるを言	一	髮切	是ハ髪長の短によらず、不残揃切候者髪切也、煩ぬけ髪はへそろはず、少切候様相見へ、又は中はさみ出来物之うへなとはさみ候は、髪切にて無之間、向後不及改之	一	小女	是ハ当歳より振袖之内小女たるへし、併振袖之体不審有之ハ可改、但小女之内、尼、かふろ髪切などは不及改之	一	乱心	男女供	一	手負	男女供	一	囚人	男女供	一	首骸	男女供	一	死骸	男女供	右之通手形に可書載之、若不審之軀於有之者可改、此外者不及改之、但欠落等之者有之節者、此方書付可遣之間、随其趣可改之、次当月之日附にて来月晦日迄可通之、其日限より及延引者不可相通、女路次にて相煩、又は相果、手形より数不足之分者、其断開届可通之、勿論多者不可通之者也
正徳四年六月 日																												

手形記載事項の看板 正徳4年(1714)6月

○手形発給者

鉄砲手形の発給者は老中、女手形の発給者は、その女性の出発地によって決められ、幕府役人、藩主、領主家来が地域を決めて分掌していました。

女手形発給者

《幕府役人》	幕府留守居	伊豆国より東の国の女性
	京都所司代	禁中堂上方・宮・門跡・公儀役人の京都屋敷の女性。伏見奉行の家中・召使、家中家来の女性。丹後・但馬・若狭・伊賀国の女性。越前国のうち私領の女性、中国・四国・九州の西国方の女性。
	京都町奉行	京都町中の庶民の女性、山城・近江・丹波国の女性のほか、京都所司代が出府中には代行もした。
	伏見奉行	自分の家族、家臣である与力・同心の家中、伏見奉行支配の女性。伏見奉行の出府中は京都所司代が代行。
	大坂町奉行	大坂町中、摂津・河内国の女性。
	堺町奉行	堺町中、和泉国中の女性。堺町奉行の出府中は、大坂町奉行が代行。
	奈良奉行	奈良町中・大和国中の女性。奈良奉行の出府中は、京都所司代が代行。
	駿府町奉行	駿府町・駿河国の女性。
	兵庫奉行	兵庫奉行支配の女性。
《藩主》	遠江国・東三河(渥美郡・八名郡・設楽郡・宝飯郡)・西三河(幡豆郡・額田郡・碧海郡・加茂郡)	伊勢国・志摩国・美濃国から出国する女の発給権は藩主に属するのではなく、様々な藩主が幕府の命により、交代して女手形を発給した。特に遠江国・三河国の発給者は度々変更した。
《領主家来》	尾張藩家臣は尾張国中の女性。紀伊藩家臣は紀伊国中の女性とそのほかの国にある同藩領分の女性。加賀藩家臣は加賀・能登・越中国の女性。越前福井藩の家臣は福井領のほか、同国代官所の女性、同国幸若村の幸若音曲師の女性の手形を発行した。	

○判鑑

関所に提出された手形が正式な発給者が発行したものか確かめるため、手形発給者の印鑑が関所にあらかじめ保管されていました。これを判鑑と呼び、手形発給者が交代した場合には、新しい発給者のものに更新しました。

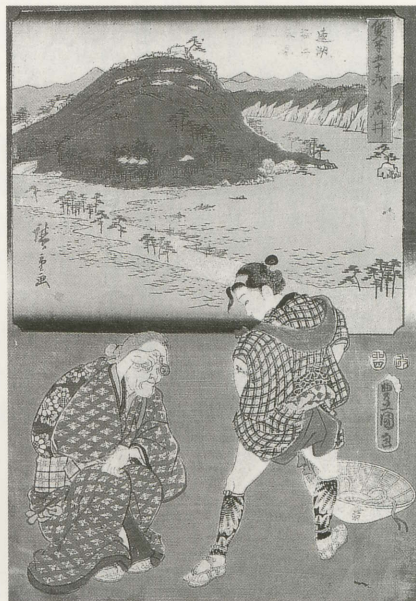
○女改め

関所役人にとって最も重要な任務が女改めと鉄砲改めです。

今切(新居)関所では、江戸から出る出女だけでなく、下りの女性も取り調べの対象としていました。

一般的な女改めの手順は、女性を含む一行が関所に到着すると、引率してきた男性が同行の女性の手形を女性の身分に応じて上番所、下改め番所に提出します。提出された手形は者頭へ渡され、最初に者頭が見ます。次に当番の給人へ手渡し、給人は関所に備えつけられている印鑑箱のなかから判鑑を取り出して判鑑と女手形に押されている印を照合し、さらに手形の真贋・改作・汚れなどを入念に調べました。

番所前では改女が身分の高い女性から髪改め等を行い、取り調べの結果を下改めが書き付けました。番所内ではこの書付と手形の記載とを照合し、一致すれば通過を許可しました。

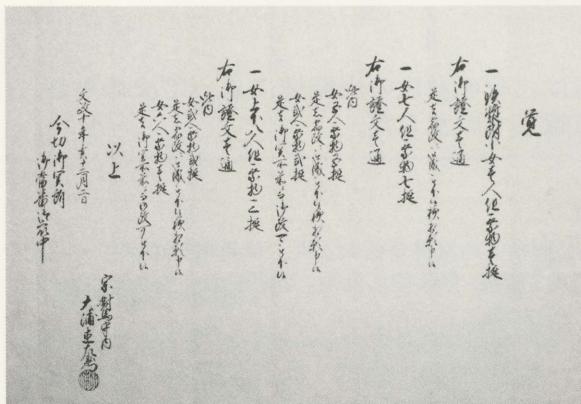


双筆五十三次 豊国・広重画

○本陣改め

本陣改めは公家・大名等身分の高い女性に限られ、あらかじめ関所に対し本陣での改めを届出て、それが受理された場合に限り許可されました。

本陣改めの場合、者頭・下改め役が羽織袴に正装し本陣に出向き、手形とその女性を取り調べました。改女の役割は本陣当主の母か妻が担当しました。



本陣改願書

文政 10 年 (1827)

○鉄砲改め

鉄砲改めは原則的に者頭の立会いが必要でした。者頭の退関後に鉄砲が関所へ到着した場合は、足輕を派遣して、者頭を呼び出しました。

今切(新居)関所では上り鉄砲の場合は、江戸より出て戻る予定がなければ手形の必要はありませんでした。下り鉄砲の場合にはすべて老中発行の鉄砲手形か置手形を必要としました。

手形の発行者、押してある印判、記載事項が違っていれば、それぞれ所違い・印鑑違い・記載違いとして手形を差し返し、通行を許可しませんでした。

○海辺改め

旅人がひそかに浜名湖を渡海したり、湖北の山道を抜けたりすれば関所役人の取り調べを受けずに往来ができてしまいます。今切(新居)関所では、浜名湖周辺の村々に対しこのような旅人の抜け道を取り締まる義務を課していました。

関所ではこれらの村々を定期的に巡村し、関所通行規制の取締りを命じ、協力を誓約させました。これを海辺改めといい、その対象となった村々を海辺改め村といいました。

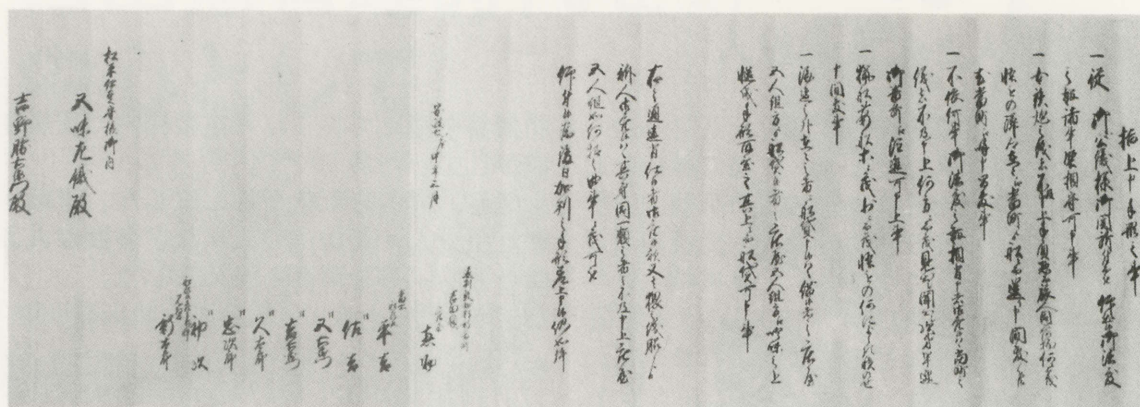
関所任務の一端を負わされた村々は浜名湖東岸と西岸に存在し、それぞれを東海辺村、西海辺村と呼びました。

東海辺村 舞坂 馬郡 坪井 篠原 入野 小藪 富塚 片草 西鴨江 志都呂 宇布見 山崎
小人見 大人見 伊佐地 佐浜 和地 平松 白須 細田 上田 西 和田 村櫛 乙君
内山 堀江 呉松

西海辺村 新居 橋本 松本新田 松山 内山 中之郷 弥太郎新田 鷺津 古見 吉美 川尻 岡崎
新所 入出 太田 大知波 利木 横山 下尾奈 南脇 鶴代 三ヶ日 宇志 津々崎
野地 佐久米 都筑 大崎

海辺改めを受ける村々では関所役人が巡村した際、①五カ条手形、②町村概要の覚え③夜殺生手形の三通を提出しました。三通の文書の中で最も重要とされる五カ条手形は、幕府から関所に出された法令を守ることを第一とし、自分の船に旅人やその荷物を乗せないこと、船の貸し借りには十分な注意を払うことを誓約したものです。

海辺改めは、前回の改めより 10 年経過後、もしくは吉田藩主の交代や代替わりに実施されました。



新居が提出した五カ条手形 安政 7 年(1860)3 月

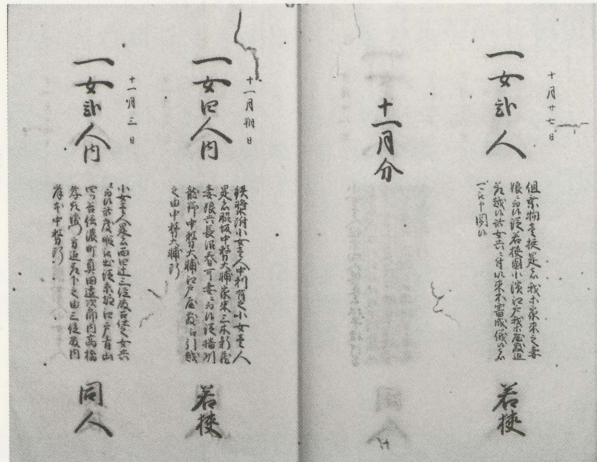
海辺改めは関所役人が東西に二手に分かれ、それぞれの海辺改め村を全行程四日間かけて巡村しました。

巡村する関所役人は東西ともに給人・下改め・足軽各一名と供の者等総人数は十人以上でした。

◆収納手形の処理

関所役人は通行人から手形を受け取ると、その手形に改作・汚れはないか、印判は判鑑と一致するか、本人と手形記載事項に間違いはないかを調べ、不審がなければその通行を許可しました。受け取った手形は通行人へは返却せず、通行人の出所、手形の種類によって下記のように七区分し、それぞれの控帳へ記載しました。

- ①所司代発行の下り女手形の控帳
- ②留守居発行の上り女手形の控帳
- ③諸国からの下り女手形の控帳
- ④駿河・遠江からの上り女手形の控帳
- ⑤書替手形の控帳
- ⑥鉄砲手形の控帳
- ⑦夜通改めの控帳



関所通行手判寄帳 安政5年9月より12月

控帳への記載が終わると手形に封をし、封の上に通行人の身分・発行者・年月日・時間・当番役人の名を付け、長持ちに入れて保管しましたが、留守居と京都所司代が発行した手形に限っては、6か月ごとに発行者へ吉田藩経由で返納しました。

◆文化人としての役人

武士である関所役人は、もともと一定の学問素養を備えており、一定の枠内で新居住民の中に溶け込むことで、住民に尊敬の念を抱かれていたようです。

者頭を勤めた五味六郎左衛門高綱は、俳句を好み、俳名を東峨と称しました。東峨が俳句を奨励したので関所役人・関所御用達・奉行所役人・新居宿の人々など多数の人が俳句を詠むようになりました。東峨は晩年左織と称し、号を華喬と改めました。

天明・寛政年間(1781～1800)には新居宿内で俳句が盛んとなり、句会が五味氏の別宅・新福寺・本果寺などで度々催されました。

むかしかたりうかべば夜半の鐘さゆる

華喬

○ 協力していただいた方 (敬称略) 杉浦 公 疋田 順之